

日本大学公開シンポジウム

健康経営の一環としての 「新型うつ病」対策と支援

塚原 拓馬 (TSUKAHARA TAKUMA)

健康経営のすすめ

- ◆ “中小企業の約70%~80%が未だ取り組んでいない”
元々、日本では「健康予防」が2009年よりスタート。

	経済産業省 2015年度	東京商工会議所 2017年
健康経営という言葉 を聞いたことがない	58.1%	40.0%
内容は知らないが聞 いたことがある	28.1%	32.6%
内容を知っている。 既に取り組んでいる	13.3%	27.4%

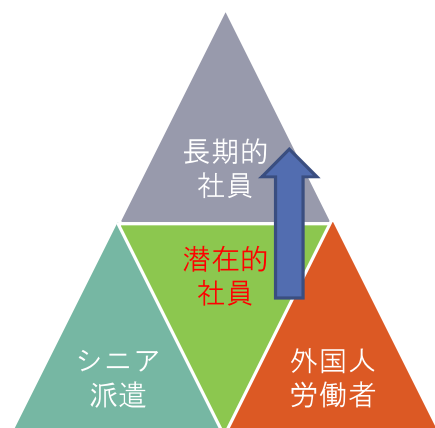
本日の演題

- ◆ 亀山先生
 - ◆ 新型うつ病の「当事者の理解」
 - ◆ こころ模様と自己承認の低さ
- ◆ 山川先生
 - ◆ 新型うつ病の「関係者の理解」
 - ◆ 不快さの要因と休職中の在り方

健康経営のメリット

- ①労働生産性の向上
業務の効率化、モチベーション対策
- ②企業イメージの向上
ブランドイメージの保守、CSR
- ③人材の確保・離職率の是正
新規採用、定着率の向上
- ④リスクマネジメント
安全配慮義務、訴訟リスク

潜在的社員の再教育と復帰支援



- ◆ 「治療と労働」の両立
- ◆ 潜在的社員の再生、育成
- ◆ 長期的従業員への移行
- ◆ キャリアカウンセリング
- ◆ 認知度（理解度）の拡大

対策と支援

○Step 1：生涯発達の支援

- 就職後～現在（成人期）の発達
- 自己発達に対する肯定・否定事象の考察

○Step 2：社内キャリアパスの支援

- 組織内キャリアの意識向上
- キャリア発達課題の移行支援

○Step 3：制度設計の支援

- No Work, No Payによる働き方改革
- 休職復職時の処遇（昇進、昇格）の明示

対策と支援

- ◆ 「経営トップの宣言と組織体制づくり」
⇒経営層の意識改善による効果が早い...
⇒体制の現状把握 社内調査エビデンスも必要
- ◆ スモールチェンジと継続的取り組み
⇒管理職、中間層によるミドルチェンジ
制度設計、キャリア開発支援

ご清聴ありがとうございました！

塚原拓馬(Takuma Tsukahara)